

研究会のあゆみ (2005年4月25日～2006年1月30日)

第104回：05年4月25日(月)

岡田菜穂子 「手織り布生産と社会的ステータス
—バングラデシュのジャムダニ産業を中心として—

安達信裕 「植民地期台湾における台湾人教員研究」

第105回：05年5月16日(月)

松浦直美 「日本における国際観光の可能性—宮島を事例に—」

古川直樹 「フィールド報告—アフガニスタン」

第106回：05年5月30日(月)

別所裕介 「中国西北部におけるチベット仏教の復興と聖山信仰
—アムド地方の聖山『チャカル・ゼーゾン』への申年巡礼—」

新本万里子 「アベラム女性の生計維持活動
—パプアニューギニア・東セピック州・N村の事例—」

第107回：05年6月13日(月)

光武昌作 「広島都市圏における有機農産物流通の現状と
専門流通業者の果たす役割」

山本真希 「鞆の浦におけるまち並みの成立
—その社会的要因と個別事情—」

第108回：05年6月20日(月)

金在国 「張赫宙論—親日と民族のはざまで」

羅玠旻 「逃げ去る男たち
—呂赫若初期作品に登場する女性たちとの関連から—」

第109回：05年7月4日(月)

上水流久彦 「漢人社会における親族研究とその課題」

中村八重 「ドナー(家族)とレシピエントの関係性
—韓国における臓器移植の事例を中心に—」

第 110 回 : 05 年 8 月 7 日 (日)

越智郁乃 「墓地移動をめぐる現状と知識の所在
—沖縄県都市部への移動の事例より—

鄭加楨 「謝罪行為における差異
—日本語母語話者と中国語母語話者の事例研究—

第 111 回 : 05 年 9 月 21 日 (水)

マーティン・ウォード
「英国国教会伝道協会と J.R.ウォルフに関する初歩的考察」

第 112 回 : 05 年 10 月 21 日 (月)

アレクサンドル・コヴァレンコ
「埴原和郎の『二重構造モデル』における〈日本人〉概念」

川原絵梨奈 「朱天文小説研究—浮遊する主人公とその変遷—」

第 113 回 : 05 年 11 月 28 日 (月)

中村八重 「韓国における臓器移植推進の論理と儒教的価値観
—キリスト教系推進団体を中心として—」

別所裕介 「中世の仏教テキストが現代チベットの宗教復興に果たす
役割について—アムド地方の巡礼地『チャカル・ゼゾン』の場合—

第 114 回 : 05 年 12 月 5 日 (月)

古川直樹 「現代アフガニスタンの国内政治に関する研究
—1980年代から90年代における政治統合をめぐる—」

川原絵梨奈 「朱天文の作品の主人公—『浮遊』する主人公とその変遷—」

第 115 回 : 05 年 12 月 19 日 (月)

光武昌作 「広島都市圏における有機農産物のフードシステムの実態」

第 116 回 : 06 年 1 月 16 日 (月)

安達信裕 「日本植民地期の台湾人教員について」

越智郁乃 「沖縄社会における墓の移動に関する一考察
—遺骨の取り扱いをめぐる—」

第 117 回 : 06 年 1 月 30 日 (月)

福井譲 「内務省による朝鮮人渡航管理政策と『一時帰鮮証明書制度』
—鳥取県八橋警察署の事例を中心に—」